



## 大阪部会(第 28 回)

日 時: 2012 年 4 月 28 日(土) 18:00~20:00

場 所: 同志社大学大阪サテライト

### 【内容要旨】

第 28 回の大阪部会は、3 月に新しい場所に移転した同志社大学大阪サテライトにて開催された。出席者は 12 名。

- (1) まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一代表から、3 月、4 月の活動報告があった。3 月に宇都宮で開催されたワークショップでは、江戸の歴史を経済の側面から解きほぐす講演や、住宅メーカーシミュレーション教材の紹介、ゲーム教材の使い方についての討論が行われた。
- (2) 2012 年夏の「先生のための経済教室」の日程・場所が確定し、内容もほぼ固まったとの報告があった。広島、大阪、名古屋では中学高校1日づつ、東京のみ中学と高校を分けてそれぞれ2日間の日程である。やや講演が多くなっており、講師の話を一方的に聞くばかりでなく参加者からの発言を促し議論の時間を多くする方法などについて意見があった。
- (3) 入試プロジェクトは今年度で三年目に入っており、過去の蓄積も活用した取りまとめを予定していることが報告された。良くない入試問題の例として、消費税が価格や数量に与える影響を答えさせる問題が紹介された。大学入試問題としてはふさわしくないという意見が大勢ではあるが、間接税(消費税や物品税)の問題は例年どこかの大学で見られることから、どのように生徒に教えるのが効果的かについて議論された。供給曲線をタテに読む見方や、租税の帰着の問題にまで話は広がった。
- (4) 東京部会で配布された宮尾尊弘氏の資料にもとづいて、行動経済学の考え方がいくつか紹介された。経済学の分野のみならず、心理学や社会学との接点も多く、中高社会科教育にももっと取り入れられてよいかもしれない。部会終了後、次回年次大会のテーマの候補として検討してはどうかという意見があった。
- (5) 他にも宮尾氏の資料にもとづいて、為替相場制や為替レートの教え方、経済成長の重要性を知らせる数値例・教材などについて議論した。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 2012 年 6 月 16 日(土) 18:00~20:00 場所未定